

令和5年4月19日 理事会第1号議案

# 公益社団法人 武雄法人会 「令和4年度事業報告書」

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

## ◆事業活動の基本方針

武雄法人会は公益法人化12年目となる令和4年度も、地域における「税のオピニオンリーダー」として「よき経営者をめざすものの団体」を標榜すると共に、「会員の積極的な自己啓発を支援」し、「納税意識の高揚・向上」と「企業経営および地域社会の健全な発展に貢献する」という基本方針に則り、親会はもとより、青年部・女性部会の活動をより活性化させ、会員と関係団体さらには地域の皆様と協力・連携して各種事業活動を遂行してまいりました。

公益法人格としての社会的な立場に留意しつつも、会員組織としての二面性にも配慮しつつ活動を行いました。

とりわけ全国的にも、また県内においても会員数の減少に歯止めがかからぬ中、法人会の存在意義を根底から深く掘り下げ、会員のメリットの追及に力点を置いた、開かれた法人会として地道な活動に力点を置いてまいりました。

その結果、9年連続して今期も会員数の増強を達成することが出来ました。次年度も引き続き常に武雄法人会の設立理念を根底に見据え、日々の地道な活動に邁進して活力溢れる法人会としての事業遂行に努力してまいりたいと思います。

## ◆主な事業報告

### I、公益目的事業関係

#### 1、税知識の普及を目的とする事業（公1）

小学生の頃より「税」に親しんで理解を深めて貰うべく、当会青年部・女性部会員で構成される社会貢献プロジェクト委員会を中心に、毎年武雄税務署管内の小学校の6年生を対象とした租税教室・税の絵はがきコンクールを開催しています。

今年度は令和4年6月2日に白石町立北明小学校(31名)、6月9日に太良町立多良小学校(30名)、6月16日に嬉野市立嬉野小学校(65名)、6月21日に武雄市立武内小学校(23名)、の4

校で合計149名の児童を対象に、夫々開催致しました。租税教室は税務署で「租税教室講師養成研修会」を受講した青年部の租税教育活動委員会会員の授業主導の下、アニメなども教材に使いながら、税で支えられている社会の仕組みを判り易く教えるものです。また教材として全法連が作成した税の啓発用漫画冊子「タックスファンドとけんた君」を、実施した4校の児童に配布、さらに武雄税務署にも租税教室のテキストとして合計2500冊を配布致しました。

さらに、女性部会が主体となって開催する「税に関する絵はがきコンクール」を上記の4校で実施、合計144点の作品応募が寄せられました。

例年通りに、武雄税務署署長様、統括国税調査官様、当法人会会長、女性部、青年部の部会員さんと外部の学識経験者を交え、厳正な審査の結果、武雄法人会会長賞4点、武雄税務署署長賞1点、審査委員長賞1点、青年部会長賞4点、女性部会長賞4点、入賞30点を選出しました。尚、全応募作品の中より最優秀作品1点については県連審査会を経て九州北部法人会連合会審査へ提出しています。

それぞれの小学校の入賞作品については、女性部・青年部から部会員が出席して校長室等で表彰式を行い、賞状と記念品を贈らせて頂きました。さらに優秀作品については対象となった小学校の近くの金融機関、郵便局、学校に1か月程展示し、武雄税務署様の入り口に確定申告時から掲示をさせて頂いております。

また、納税貯蓄組合連合会が主催する中学生「税の作文コンクール」の作文審査を青年部のサポートを仰ぎながら、女性部会が主体となって実施しております。今年度は管内中学校19校の内10校から応募がありました。3年生を対象として原稿用紙を配布し、夏休み明けに回収された応募作品は585編でした。納税貯蓄組合連合会 富永正嗣会長のご指導の下、税に関する独創的な体験、税に対する感謝や思いの表現力、文章の構成力、共感性など多角的な観点から採点を行いました。第一次選考で21編の作文に絞り込み、選考の結果上位5編を入賞としました。尚、上位2編の作文につきましては佐賀県連合会へ上申しています。

## 2、税務知識の高揚を目的とする事業（公1）

### （1）税務研修会

税務知識の習得は企業における、よりよき経営の必須条件であるばかりでなく、正しい申告納税制度を推進させることにも寄与する大切な仕事であることから、年に一回の割合で、武雄税務署と共催で、「新設法人説明会」を開催しています。

令和4年度は17社21名のご参加を頂きました。新設法人に対する法人会計の説明をDVD等で行いましたが、当会への入会アプローチが今後の課題であり、次年度はさらに相応しい取り組みを行いたいと思います。

また武雄税務署法人課税部門のご協力を得て、毎年四半期に一度の頻度で「決算事務説明会」を開催しています。令和4年度は会員企業93名、非会員企業39名、合計132名の参加を頂きました。当会よりその際には全法連が策定した「税務コンプライアンスチェックシート・入門編」を配布して、その活用についての説明を致しました。

また武雄法人会と武雄税務署様が共同主催して、令和5年10月1日から導入される消費税

「適格請求書保存方式」(インボイス制度)の説明会を開催しました。説明内容は、消費税インボイス制度の概要について、講師に武雄税務署法人課税部門担当官を迎え、会員企業164名、非会員企業72名、合計236名の参加を頂きました。

10支部にまたがる支部研修会は、例年武雄税務署各部門のご担当様などを講師にお迎えして地域毎に開催しておりますが、令和2年度より各支部で講師を選定して頂き4名の講師へお願いして研修会を開催致しました。講師とテーマは以下の通りです。税理士法人とみなが会計税理士 富永正嗣氏「管理会計・会社と役員間の取引における税務上の留意点」「自社株式の評価・企業のM&A」について、井手社会保険労務士 井手静雄氏「働き方改革から働きがい改革へ」について、司法書士法人 アドヴァンス 土井大史氏「相続の手続きと新しい遺言書制度」「相続登記の義務化」について、佐賀県議会議員 石倉秀郷氏「災害に強い 街づくり 国づくり」会員企業より204名、非会員企業より38名の合計242名のご参加を頂きました。

また、毎年11月11日から17日に開催される「税を考える週間」に協調する意味から、武雄税務署長様を講師としてお迎えして、当会より青年部会、女性部会会員及び武雄間税会との共催による合同税務研修会を開催し、松江孝行税務署長様より「これからの日本のために税制を考える」と題して、ご講演を28名の参加で拝聴致しました。

## (2) 広報事業

税の広報誌として「ほうじん武雄」を毎年8月と1月の二回にわたり定期的に発行しておりますが、今年度も編集方針を「もっと身近な会報へ」と常に見直しを行い、会員企業訪問シリーズや、顧問弁護士、顧問社会保険労務士による専門知識の習得に結び付く連載随筆などの掲載、さらに法人会活動の写真を多く掲載し、レイアウトに工夫を凝らし、親しみ易くまた見易く致しました。また国が提唱するe-Tax(国税電子申告・納税システム、軽減税率の周知活動)の普及についても関連記事の掲載を行っています。今年度は、夏期65号・冬期66号を発行致しました。発行部数2100部のうち会員向けに1200部を発送し、市役所・町役場・金融機関・商工会議所・商工会などに一般向けとして900部を配布しています。また全法連発行の「ほうじん」は季報として年4回夫々1600部発行されておりますが、「ほうじん武雄」と同様に配布しております。

さらに、当会のホームページを利用した税の啓蒙活動につきましても、支部研修会、決算事務説明会、租税教室、税を考える週間などにおける活動状況を頻繁に更新して紹介し、広く情報公開しております。

## 3、 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業 (公1)

令和5年度税制改正に関するアンケート調査の実施については、当会税制委員会委員を始めとして、役員、九州北部税理士会武雄支部、青年部・女性部会員、一般会員からランダムに抽出して本会より30名の回答を得ました。これらの意見を包含して、令和5年度税制改正要望事項の検討については、県連税制委員会により佐賀県単位会の総意として要望事項が取り纏められました。その意見集約された提言は法人会全国大会において、採択された要望事項が発表

されています。

また、11月に当会の会長、税制委員長、事務局で令和5年度の税制改正提言書を、管内の自治体(武雄市・鹿島市・嬉野市)の首長・議会議長を訪問し直接手渡しして、税制改正提言へのご理解と法人会活動へのご協力を要請致しました。

## 4、地域社会への貢献事業 (公2)

### (1)公開講演会

5月25日の定時総会記念公開講演会は、作家の「竹田恒泰氏」を講師に迎え「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員131名、一般108名、合計239名でした。

また、6月17日の青年部会定時大会においては、武雄市 小松市長様と嬉野市 村上市長様による「県西部地域のこれから」をテーマとしたパネルディスカッションを開催しました。武雄と嬉野の両市長が登壇し、新幹線を活用したまちづくりの方向性と観光戦略を語って頂きました。27名の参加でした。

11月17日の税を考える週間記念講演会は、外交ジャーナリストで作家の「手嶋龍一氏」を講師に迎え「習近平の中国の攻勢と日米同盟～中口の連携を読み解く～」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員86名、一般72名、合計158名でした。

広報手段として当会会報誌、新聞掲載、チラシ配布、管内地域のケーブルテレビ各社で告知をお願いし、また当会ホームページにも掲載するなどして、広く一般の方々にも周知を図りました。

### (2)アルモニア管弦楽団演奏会の開催

令和4年度の地域社会貢献活動の一環として青年部・女性部会員を中心として、太良町立多良小学校(児童数200名)と、鹿島市立鹿島西部中学校(1年生生徒数168名)総合計368名、父兄他28名の参加となり、例年通り近隣の小中2校で開催致しました。

演奏会の冒頭青年部会員より「税の大切さ」などのショート講話を行い、福岡・佐賀のプロの管弦楽集団であるアルモニア管弦楽団(代表久原興民氏他11名)の素晴らしいクラシック音楽の生演奏を、約40分間お聴き頂きました。生の演奏に初めて接した児童の多くから感動の声がかれました。最後の演奏曲はいつもの開催学校の校歌なのですが、例外なく全員で大斉唱となるのが生演奏の力でしょう。今年度も堂々と声高らかに校歌斉唱をされまして、素晴らしく感じました。

### (3)愛の献血運動

献血運動は、本会の地域貢献活動の一環としてこれまで継続事業として積極的に取り組んでまいりましたが、今年度で23年目となり、地域の皆様に法人会の献血運動と定着するまでになりました。今年度は武雄市、鹿島市、嬉野市の3地区3会場で当会の女性部など、延べスタッフ20名の動員で行い、受付者316名、献血者288名の実績でした。なお毎年、献血にお見え

になった皆様には、当会より箱ティッシュ5箱・甘納豆・佐賀県米の新米などをプレゼントさせて頂いておりますが、今年度も大好評を博しました。

#### **(4)新作カレンダーバザー展へのカレンダー寄贈**

毎年の年末に佐賀市で開催されている赤い羽根共同募金会主催の「新作カレンダーバザー展」に県連を通じて10社から募った218点の新作カレンダーを出品し、その売上金は県連を通して県内5単位会で集約され、その収益金を赤い羽根募金会へ寄付致しました。

#### **(5)管内公共施設等への備品寄贈事業**

地域社会への貢献事業として、管内公共施設等への備品寄贈を計画していることから、令和4年度は武雄市へ「加湿機能付空気清浄機」7台を寄贈しました。寄付の目的は、市民が集う場所へ空気清浄機設置による除菌対策です。

令和5年度は鹿島市並びに嬉野市へ、令和6年度は杵島郡3町と太良町への寄贈を計画しています。

## **5、地域企業の健全な発展を目的とする事業（公2）**

### **実務研修会(新社会人セミナー・パソコン教室)の開催**

#### **(1)新社会人セミナー**

令和4年度と同セミナーのテーマは、「知って得するビジネスマナー」と題して「接客・接遇・電話応対」を実践的にセミナー形式で開催、管内企業の社員教育の一環と致しました。今年度は会員企業より63名の参加を頂きました。講師の招聘では東京都より道棟代表取締役 自覚真由美先生にお願いして好評を博しております。

#### **(2)パソコン教室の開催**

社員教育の一環として、パソコンスキルアップ「ワード」・「エクセル」の実践的なビジネス活用を目指した講習会を三日間連続して実施致しました。

「初めて文字入力からの初心者コース」を開設し、マンツーマン方式で、三日間で延べ59名の参加を頂きました。

講師は今年度も(有)イツデモ 社長 田代真一氏にお願い致しました。

## **II、収益事業関係**

### **1、会員企業の福利厚生に関する事業（他1）**

法人会企業の企業保全と人材保障に備える法人会の福利厚生事業として以下の制度の普及拡大を図りました。当会役員の紹介活動にも注力して紹介者には佐賀牛をプレゼントするなど、特に関係団体との連携を強化継続中です。また事務局からも会員企業訪問を兼ねて担当の推進員との帯同訪問を致しました。

#### **(1) 経営者大型保障制度の普及推進**

- (2) ビジネスガードの普及推進
- (3) がん保険制度・医療保険制度の普及推進
- (4) 貸倒保障制度(取引信用保険)の普及推進

## 2, 会員支援のための親睦・交流等に関する事業 (他2)

### (1) 青年部会視察研修・女性部会視察研修会の実施

#### ① 青年部会視察研修

第36回法人会全国青年の集い「沖縄大会」が沖縄市の沖縄アリーナで開催されました。前年度開催の佐賀大会へは沖縄法人会青年部会の会員皆様が大量来佐して頂きましたので、大会成功の感謝の気持ちを込め沖縄大会への参加を兼ねて視察研修を行いました。武雄法人会からは総勢16名の部会員が参加し、部会員相互の親睦を更に深めることが出来ました。

#### ② 女性部会視察研修

西九州新幹線開業に伴い、長崎市方面へ視察研修を実施しました。

往路は新幹線かもめへ乗車し、長崎市内を視察。復路はJRふたつ星へ乗車し、ゆっくり時間を楽しみました。総勢16名の参加で会員同士の親睦交流を深め、絆を確認しました。

### (2) 異業種交流会

大人数密集で飲食を伴うために、異業種交流会は見送りました。

状況を見ながら再開を計画していきたいと思えます。

### (3) 法人会ゴルフコンペ

#### 第8回武雄法人会会員向けチャリティゴルフコンペ

大会実行委員長山口健一氏の指揮の下、10月26日武雄嬉野国際カントリークラブで107名の参加により開催しました。当日は晴天に恵まれ、参加者全員日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されました。今年度もチャリティーホールでの収益金48,000円を当会の会員でもある武雄市社会福祉協議会と鹿島市社会福祉協議会へ寄贈させて頂きました。令和5年度大会は10月に予定しております。

## Ⅲ, 公益収益事業の詳細並びに会員、青年部・女性部会員、支部別会員、福利厚生制度の推移について

税知識の普及と高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業、地域社会への貢献事業、地域企業の健全な発展を目的とする事業並びに主催した会議、出席した会議、及び青年部・女性部会員の活動等の詳細につきましては、別紙の事業報告の付属明細書をご確認ください。

また、当会の会員数、青年部・女性部の会員数、福利厚生制度の推移につきましては、別紙グラフに掲載しておりますので、ご確認ください。